

サステイナブルな資本主義に向けた好循環の実現

～分厚い中間層の形成に向けた検討会議 報告～

参考：ポイント資料

2023年4月26日

一般社団法人 日本経済団体連合会

行き過ぎた株主資本主義、市場原理主義

これによってもたらされたものは・・・

格差の拡大、固定化、再生産

今回の提言

「分厚い中間層の形成」

生態系の崩壊

GX(グリーン転換)の推進

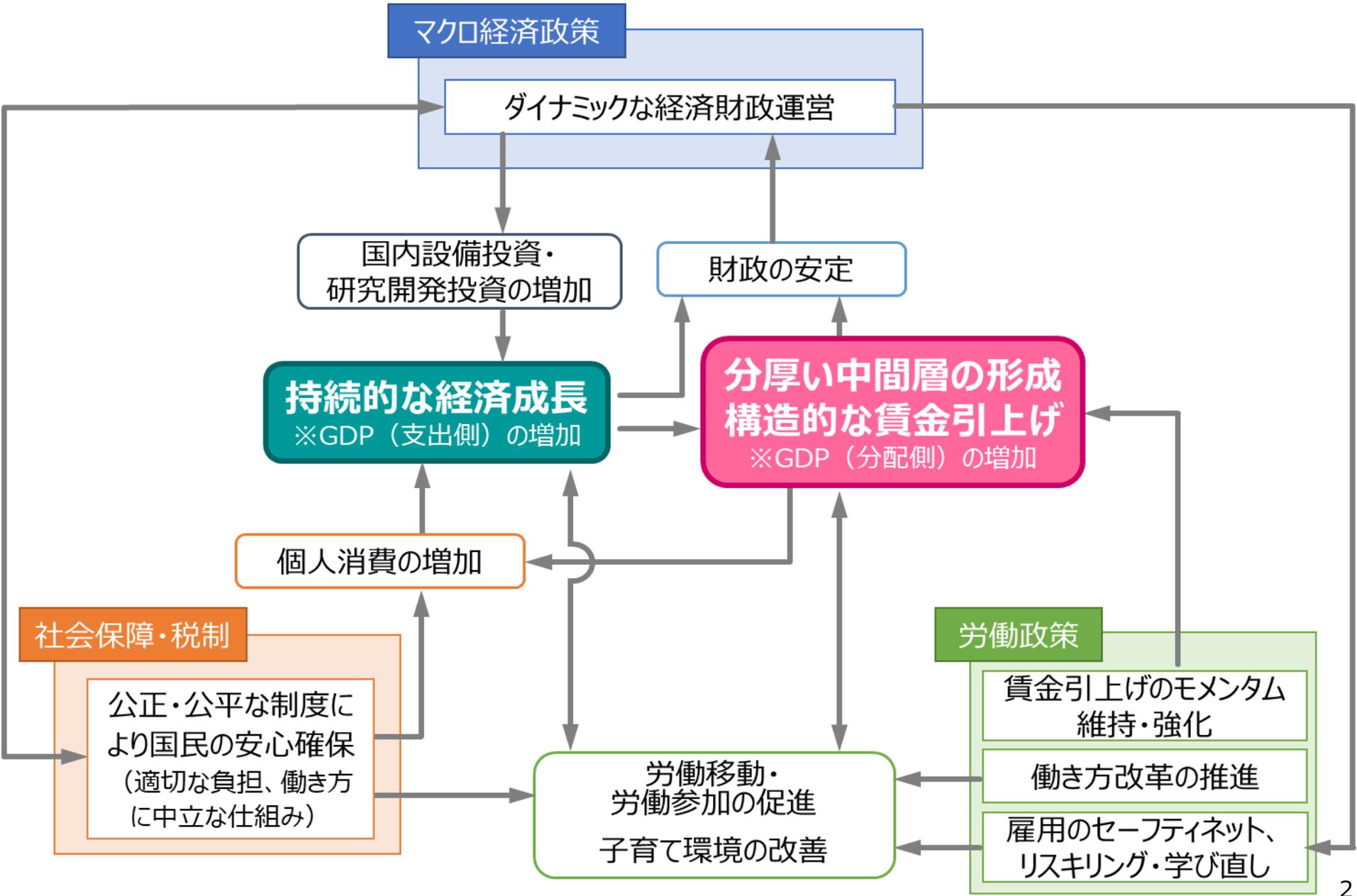
進行中

経団連提言 (2022/5/17)
『グリーン転換 (GX) に向けて』

今回の経団連提言

『サステイナブルな資本主義に向けた好循環の実現
～分厚い中間層の形成に向けた検討会議 報告～』

- ✓ わが国の重要課題：格差の問題、加えて、わが国経済の長きにわたる低成長
- ✓ この課題に①マクロ経済政策、②社会保障・税制、③労働政策の3つの柱で全体感を持って取り組む
- ✓ 2030年を目途に分厚い中間層の形成を目指す

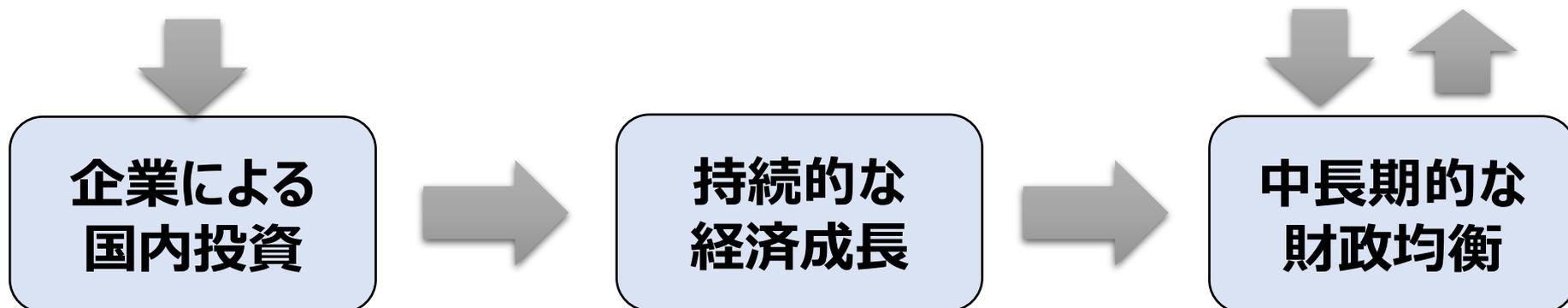


「ダイナミックな経済財政運営」

= MSSEを通じた「持続的な経済成長」と「中長期的な財政均衡」の実現

Modern Supply Side Economics(MSSE)

- ✓ 従来のSupply Side Economics (規制緩和、減税等)に加えて、社会課題の解決にターゲットを絞った政府による財政支出を通じ、民間投資を促す (例: GX推進)
- ✓ 長期計画に基づいて複数年度にわたって政府がコミットし、官民連携も推進
- ✓ 企業が予見可能性をもって継続的に投資を行うことが可能に



「公正・公平で安心な全世代型社会保障・税制」

= 「適切な負担」と「働き方に中立な仕組み」の実現

適切な負担

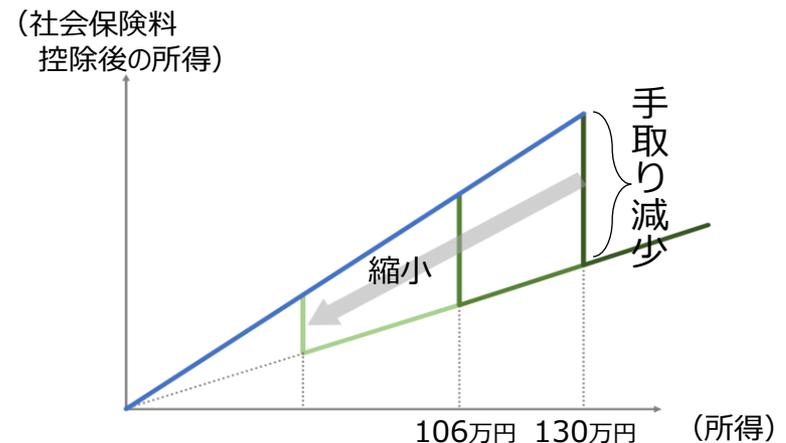
社会保障財源 = 社会保険料 + 公費
(消費税等)

↓
長所: 財源の安定性、給付の権利性
短所: 賦課が現役世代の稼働所得に偏重
(金融所得等は踏まない)

- ↓
- ✓ 現役世代の稼働所得偏重の是正
(可処分所得を増加) ※
 - ✓ 様々な税財源の組み合わせによる新たな負担も選択肢とすべき※
 - ✓ 資産を含む負担能力の正確な把握に向けたマイナンバーの徹底活用

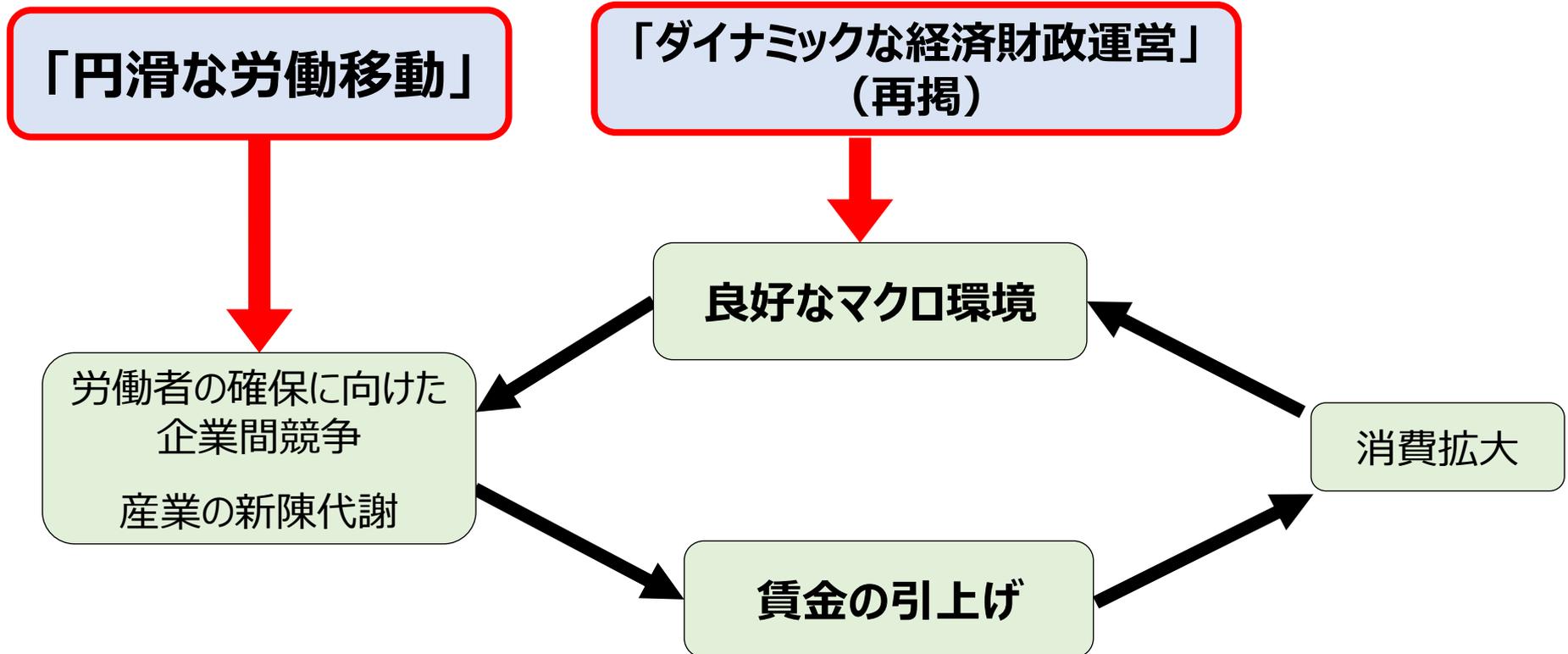
働き方に中立な仕組み

- ✓ 働く人々の安心感を確保すべく、勤務先の違いによらず、被用者保険に加入し、より厚い給付を受けられるようにする
- ✓ 「年収の壁」(手取り減を避けるための就労調整)
: 賃金要件を引き下げ、減少幅を縮小



「構造的な賃金の引き上げ」

= 「円滑な労働移動」と「ダイナミックな経済財政運営」が必要



「円滑な労働移動」の推進に向けた政府と企業の取り組み

政府の取り組み

- ✓ セーフティネットを「雇用維持型」から「労働移動推進型」へ（フレキシキュリティ）
 - ✓ リスキングを含むリカレント教育支援
 - ✓ 雇用マッチング機能の強化
 - ✓ 労働者保護の観点からの解雇無効時の金銭救済制度
- ✓ 退職所得控除のあり方の検討

企業の取り組み

- ✓ 「人への投資」の一環としてのエンプロイアビリティの向上（人材育成、リスキング等）
- ✓ 採用方法の多様化（経験者採用、カムバック・アルムナイ採用等）
- ✓ 「ジョブ型雇用」を含む「自社型雇用システム」の確立
- ✓ 副業・兼業を含むキャリア形成支援
- ✓ 退職金制度のあり方の検討